

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリュース)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P4 企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

【長期・積立・分散投資】

「長期」、「積立」、「分散投資(資産の分散と投資時期の分散)」が資産形成には重要である。

これは、金融庁が10月に出した平成28年事務年度の金融行政方針の中に盛り込まれたキーワードです。私たちコモンズ投信は、創業時より生活者が自身の年金やこどもの教育資金など、将来に備えた資産形成を行うためには投資信託を活用した長期、積立、分散が大切であると情報発信し、その為の投資信託を開発・運用して参りました。まさに当社の創業のミッションともいえるものです。

その意味では、当局が各金融機関や運用会社に働きかけを行う10年近く前から行動に移してきたことを自負していますし、この間、受益者である皆さまや投資企業の皆さまとの積極的な対話を通じて、その経験値を積み重ねてきたことは当社の財産だと思っています。

この長期、積立、分散は投資の基本でもあります。いま、世界の金融市場はトランプショックからトランプラリーに景色が様変わりし、大幅なドル高円安、金利上昇、株高を演じています。こうした急激な市場の動きに対し、日本株における投資部門別の売買動向(東証の統計データ)をみると海外の投資家の1兆円を超える大幅な買い越しに対し、個人投資家はその買いにぶつけるような大幅な売り越しです。どちらが正しいかは、それぞれの投資家の投資スタンスにもよりますので一律の回答はありません。

渋澤と伊井の「今月の想い」

しかし、ひとつ正しいことがあるとすると、市場がこうした乱高下を行っていきようが、成長を目指して企業努力を続けるまじめな企業も沢山あるということです。コモンズ30ファンドは、こうした事業環境や金融環境の変化を吸収しながら筋肉質な体質に進化を続ける“強い企業”に投資をしています。また、変わらないものとしては、私たちの日々の調査活動も市場の変動とは無関係に粛々と続けてまいります。

皆さまにおかれましては、株式市場の乱高下に一喜一憂することなく「長期」、「積立」、「分散投資」で家計の金融資産を長期的に築かれていくことをお勧めします。

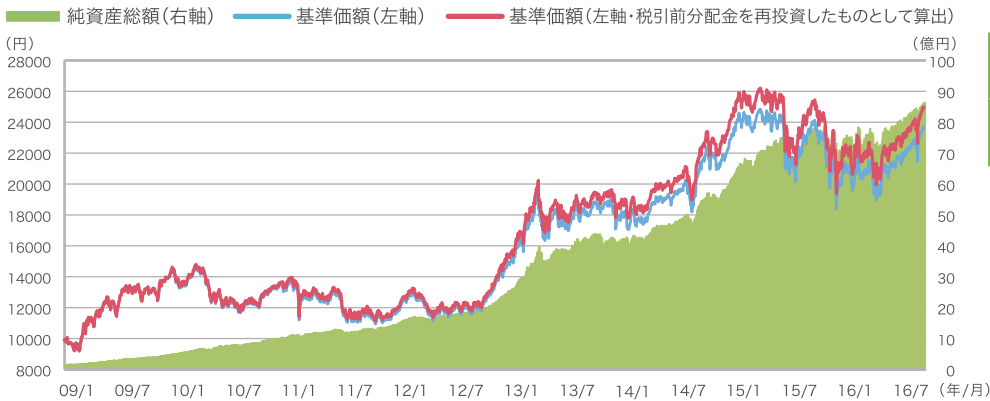
引き続き、コモンズ30ファンドをよろしく願っています。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井 哲朗

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2016年11月30日付)

基準価額	23,650円
純資産総額	8,541百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2016年11月30日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
3.21%	8.84%	9.78%	▲0.68%	28.16%	116.44%	149.32%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)
120円	130円	0円	200円	200円	220円	0円

運用状況

◎運用レビュー

11月のファンドの月間リターンは3.21%の上昇となりました。

◎11月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「丸紅(+13.32%)」、「コマツ(+12.40%)」、「東京エレクトロン(+10.40%)」となりました。丸紅は、商品市況の回復やロシアビジネス拡大への期待が株価上昇につながっていると思われます。コマツは、円安進行や資源価格上昇で業績上方修正の可能性が高まっています。東京エレクトロンは、スマホやデータセンターでの容量拡大を映して半導体メモリ需要が活況で、中期的な利益成長への期待が広がっています。

一方、下位3銘柄は、「楽天(▲6.97%)」、「シスメックス(▲5.49%)」、「味の素(▲5.31%)」となりました。楽天は、決算発表で、国内EC流通総額の成長率鈍化など、市場予想を下回る利益水準となったことが嫌気されました。シスメックスは、今通期営業利益計画の下方修正を発表、前期比9%減とこれまでの連続増益が15期で途切れることがネガティブ視されました。味の素は、決算発表で通期の営業利益計画を下方修正、従来の増益計画から減益計画に変更したことが悪材料となりました。

◎運用責任者メッセージ

11月の内外金融市場は、8日の米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受け様相が大きく変わりました。トランプラリーの発端は、①大統領選の勝利演説の内容が選挙戦の時の発言と違いバランスがとれていて安心感があった内容だった、②上院下院ともに共和党が多数派となった(あまり想定されていませんでした)ことで、元来、共和党は減税や規制緩和に積極的で成長にやさしい政策スタンスをとるだろうと予想されたことでした。

内外金融市場は、トランプ新政権下で予想される「財政の拡大、規制緩和」を期待して大きく動き始めました。国内株式市場でも11月は、業種別では保険、銀行、鉄鋼、証券、不動産業が上昇する新しい動きとなりました。

世界の金融市場は、久しぶりにインフレや財政拡大などがテーマになっています。2017年以降の世界景気や政治動向を見極めるにはもう少し時間が必要です。引き続き、こうした外部環境の大きな変化を各企業がどう乗り越えていくのか、しっかりと調査を続けて参ります。どうぞ、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、糸島孝俊、鎌田聡、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

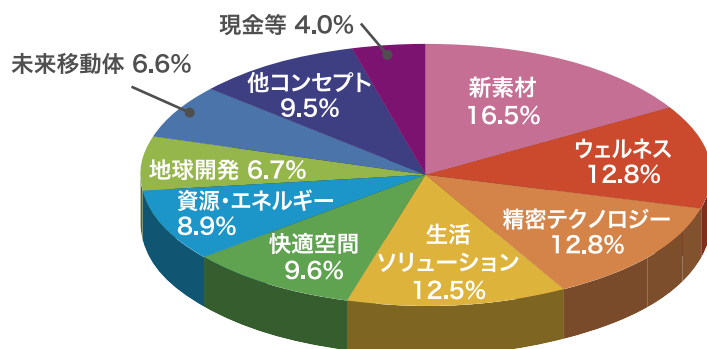
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	96.0%	0.2%
現金等	4.0%	▲0.2%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2016年11月30日付)



組入上位10銘柄

(2016年11月30日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする
2802	味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

11月は丸紅の株価が13.32%と大幅に上昇しました。アメリカ大統領選挙の結果が明らかとなった10日から株価は上昇、商品市況の回復や円安効果など外部環境の好転がポジティブ視されています。ロシアビジネス拡大への期待も背景にあると思われます。同社の朝田照男取締役会長は、経団連のなかの地域別活動である「日本ロシア経済委員会」の委員長です。ロシアのプーチン大統領が12月中旬に日本を公式訪問する予定ですが、トランプ米次期大統領の就任で米口関係が改善すれば、日本のロシアビジネスに将来的にプラスになると期待されます。

業績は回復に向かっています。前期減損を計上した原油・天然ガスおよび銅などの収益の急改善が大きく貢献。今後の成長分野と位置づける海外での農業資材関連や穀物事業の収益力強化策も進めており、2017年3月期通期の当期利益は前期比2.1倍の1300億円となる見込みです。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

企業との対話

コモンズ30塾～株式会社 資生堂をお迎えして～

「働く人の心に寄り添った『働きがいのある会社』というビジョン・ミッションに感銘を受けました。自立して生き活きた美容部員(ビューティーコンサルタント 以下BC)の方が、世界中の女性を笑顔にする未来にとてもわくわくします！」

「女性だからというより男女共にキャリアアップという言葉に共感しました。『配慮は個別』『働くメンバーに関心を持つ』ということを再認識する機会となりました。」

以上は、去る11月10日、「コモンズ30塾『女性の活躍セミナー』コモンズ30ファンド投資先企業【株式会社 資生堂】から学ぶ」を開催した際に、参加者の方から寄せられた感想の声です。

この日の登壇者は、同社執行役員美容統括本部長 副島三記子さん。全世界約2万2千人のBCを統括する美容部門のトップとして活躍されている人物です。

社員構成83パーセントが女性、お客様の9割も女性であることから、資生堂は早くから女性の活躍の場となって成長してきました。結婚、出産を期に辞める社員が多かった第一ステージから、育児休業、時短制度を四半世紀も前から導入し、育児をしながら仕事を継続できる第2ステージに早くから移行した企業です。

そして資生堂は一昨年、「資生堂ショック」と批判の声もあがった新たな挑戦に出ました。一辺倒の時短制度を見直す決断、繁忙期となる夕方土日祝日の店頭での経験を増やすことで、しっかりとキャリアアップの道をつくっていかうという新しい取り組み。第2ステージにとどまるのではなく、しっかりとキャリアアップできる第3ステージに踏み出したのです。

副島さんは言います、「資生堂が挑戦したのは働きやすい会社から、働きがいのある会社へとシフトすること。そして、資生堂がBCに求めたキャリアアップは「貢献」を意味します。社会、お客様、同僚にいかに関与していくかということ。キャリアアップは、仕事に取り組む上で、経験をつんで成長し、貢献度をあげていくことです」。そして副島さんは、BCたちの成長をBC任せにするのではなく、会社がそれぞれのビジョンをしっかりサポートし、評価していく必要があると主張されました。

「2020年には資生堂を最もダイバーシティーが進んでいる、日本全体をリードする会社に！」

副島さんのお話から、より良い未来のための挑戦を果敢に挑み続けるリーダーの存在を、コモンズ30ファンドの投資先企業の一社である資生堂に改めてみるのができた機会でした。

*当日の様子はブログでもご紹介しています。是非こちらも併せてご覧ください。

<http://park.commons30.jp/2016/11/3030.html>

マーケティング部 馬越 裕子

今月のSEEDCap情報



写真1

【いよいよ寄付月間2016がスタート!】

12月1日、キックオフイベントとなる「寄付月間シンポジウム」が開催され、コモンズ投信会長 渋澤がトークセッションのファシリテーターを務めました。*写真1

寄付月間とは、NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、12月1日から31日の間、協働で行う全国的なキャンペーンです。<http://giving12.jp/>

「寄付はより良い明日への投資」と考え受益者のみなさまと共に行動するわたしたちコモンズ投信も、初年度より共同事務局を担っています。2年目の今年は約400の法人の皆様、また学生や個人、任意団体の方々も賛同パートナーやリードパートナーにご登録くださいました。その中にはコモンズ投信の受益者の方々も! *写真2

期間内に開催される公式認定企画は70を超え、全国で様々な寄付啓発企画が開催されます。わたしたちコモンズ投信もイベントを開催しますので、是非お気軽にご参加ください!

<http://giving12.jp/join/>



写真2

SEEDCap担当 馬越 裕子

■ お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

**参加セミナー：コモンズ30塾『女性の活躍セミナー』
コモンズ30ファンド投資先企業【株式会社 資生堂】から学ぶ**



本日は貴重な機会をありがとうございました。働く人の心に寄り添った『働きがいのある会社』というビジョン・ミッションに感銘を受けました。自立した、生き活きとしたBC(ビューティーコンサルタント)の方が世界中の女性を笑顔にする未来にとてもわくわくします！

女性だからというより男女共にキャリアアップという言葉に共感しました。
『配慮は個別』『働くメンバーに関心を持つ』ということを再認識する機会となりました。
これから先、働き方の選択がしやすく、働きがいのある環境が増えてあたりまえとなるよう、一緒にチャレンジしたいと思います。



**参加セミナー：渋澤健が語る@福岡 渋沢栄一翁に学ぶ
「よりよい明日のためのお金の使い方」～今こそ、つみたて投資～**



商品の基本的な内容や会社としてのビジョン、なぜ投資が必要か理解できて良かった。

資本主義についてわかりやすく教えていただいたことで、資本主義に対するイメージが良くなりました。



■ Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
【入門】コモンズ投信のファンド説明会	12月7日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区(コモンズオフィス)
【寄付月間 2016 公式認定企画】 ～欲しい未来へ、寄付を贈ろう～ コモンズこどもトラストセミナー「寄付の教室」	12月11日(日)	10:00～13:00	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
コモンズくつろぎ BAR クリスマススペシャル企画！ ～リオ・パラリンピックのメダリストもやってくる！～	12月21日(水)	19:00～21:00	東京都港区(日本財団ビル2階会議室)

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
ソニー銀行(株)	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			
PWM日本証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				
楽天証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○	
(株)秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○				
(株)足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○				
(株)栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○				
(株)横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○			
(株)イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○				
(株)北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○			
エース証券(株)	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

■R&Iファンド大賞について
「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

■R&Iファンド大賞2015の概要について
「投資信託」および「投資信託/総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投資、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投資、「NISA」はNISA(少額投資非課税制度)向けに利用される国内籍公募追加型株式投資、「確定給付年金」は「R&I ユニバースデータサービス」に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」、「確定給付年金」では2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託」及び「NISA」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「確定拠出年金」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上、「NISA」では2015年3月末における過去3年間の月次収益率の標準偏差(年率)が30%以下の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価に「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託/総合部門」では、2015年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間の「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト(http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/)をご覧ください。

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日9時~17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<http://www.common30.jp/>